

第12回 「消費者庁幹部とACAP会員企業役員との懇談会」を開催



坂田理事長のご挨拶



各社の消費者志向の取り組みを報告



堀井長官のご挨拶



2025年10月9日（木）、第12回「消費者庁幹部とACAP会員企業役員との懇談会」が、昨年に続き明治安田ホール丸の内（東京都千代田区）にて開催された。消費者庁からは幹部18名、ACAP会員企業からは役員25名が出席し、随行者等を含めた総勢107名が参加した。

冒頭、坂田理事長より「ACAPは2030年のありたい姿“環境変化に対応した、情報発信・価値提供のプラットフォーム”実現への変革に取り組んでいる。変化の激しい時代において、消費者の「声」から最新情報を把握し、柔軟かつ適切なコントロールが不可欠。有用な情報交換を図り、消費者・行政・企業の架け橋として活動を強化して」との挨拶があった。

続いて、堀井消費者庁長官より「消費者と最前線で向き合うACAP会員企業との意見交換の機会を得られたことに感謝する。消費者庁は、消費者行政の司令塔として、消費者が主役となり、安心して安全で豊かに暮らせる社会の実現を使命としている。超高齢化や単身世帯の増加、デジタル化の進展により、従来の消費者像が変化している。国や地方公共団体、事業者等も、消費者政策の価値規範に対する考え方を転換し、ビジネスモデルのパラダイムシフトが求められている。本日は皆様と率直な意見交換を行いたい」との挨拶があった。

その後、日下部次長より消費者庁の最近の取り組みとして、消費者法制度のパラダイムシフトに関する検討などが説明された。ACAP会員企業役員からは、各社の「消費者志向の取り組み」が紹介され、双方の取り組みについて参加者間で活発な意見交換が行われた。

最後に、飯田政策立案総括審議官より「本日の皆様の説明を通じて、日頃から消費者志向経営の体制整備や、商品・サービスを通じて消費者に向けた取り組みがなされていることを改めて実感した。消費者関連部門ではデジタルの活用が進んでいる。ACAP会員企業の優れた取り組みを、パッシブ・アクティブの両面から、より広く消費者や社会に発信してほしい」との挨拶があり、懇談会は閉会した。

懇談会終了後は、明治安田ヴィレッジ丸の内に場所を移し、懇親交流会が開催された。多くの参加者が引き続き参加し、にぎやかで活発な情報交換と交流が行われた。

山田 三代（交流活動委員／ロイヤルホールディングス株式会社）

無断転載・転用禁止

©the Association of Consumer Affairs Professionals (ACAP)